

薬剤耐性対策のため「サーベイランス・検査・人材育成・抗菌薬の 安定供給／開発支援制度・国際連携」を進める 骨太方針 2021 策定に向けた AMR アライアンス・ジャパン提言

2021 年 6 月 10 日

毎年、世界中で少なくとも約 70 万人もの人が薬剤耐性（AMR: Antimicrobial Resistance）菌感染症により死亡しており、日本においても、薬剤耐性菌が原因となり年間約 8,000 人が死亡していると推定されている。

経済財政運営と改革の基本方針（以下、骨太方針）においては、2016 から毎年「薬剤耐性（AMR）対策の推進強化、研究・検査・治療体制の充実など」の文言が盛り込まれ、AMR 対策の重要性が明記されてきた。

AMR アライアンス・ジャパンは、新型コロナウイルス感染症に匹敵する脅威である AMR 感染症に対する危機管理対策を進めるため、以下の文言を、骨太方針 2021 に盛り込むことを提言する。感染症対策は自国のみでは完結しないという考えに基づき、国際社会における責務を果たすことが重要である。

「薬剤耐性対策を推進するために、サーベイランス、検査、人材育成及び抗菌薬の安定供給網の各体制を強化し、抗菌薬研究開発における持続的なイノベーションの確保を目指すための制度を早期に構築し、国際連携において主導的な役割を果たす。」

なお、2021 年 6 月 3 日、4 日の G7 保健大臣会合では、「薬剤耐性（AMR）について、1) 抗菌製品の持続的な供給に対する経済的障壁を克服し、抗菌薬研究開発における持続的なイノベーションの確保を目指す。2) 抗菌薬供給網を多様化し、強化する。3) 医薬品製造施設や医療施設、農業、水産養殖などから環境中に放出される抗菌剤濃度基準を作成するために知見を集積する。」ことが、6 月 4 日、5 日の G7 財務大臣会合では、『サイレント・パンデミック』である薬剤耐性への対応に資する、抗生物質の開発に対する市場インセンティブを強化する提案を採択するため、本年の下半期に、我々の保健当局とともに産業界を含めて協働する。」ことが確認されている。

以上

AMR アライアンス・ジャパンとは

2018 年 11 月に設立した、AMR 対策をマルチステークホルダーで議論する独立したプラットフォーム。2021 年 6 月現在の構成メンバーは、医療と子育て、MSD 株式会社、塩野義製薬株式会社、日本ベクトン・ディッキンソン株式会社、日本医師会、日本医真菌学会、日本医療薬学会、日本化学療法学会、日本環境感染学会、日本感染症学会、日本小児感染症学会、日本製薬工業協会、日本 TDM 学会、日本病院薬剤師会、日本薬学会、日本薬剤師会、日本臨床微生物学会、ファイザー株式会社、日本医療政策機構（事務局）である。

AMR アライアンス・ジャパン（事務局：日本医療政策機構）<https://www.amralliancejapan.org/>
東京都千代田区大手町 1-9-2 大手町フィナンシャルシティ グランキューブ 3 階
Global Business Hub Tokyo TEL:03-4243-7156 e-mail:info@hgpi.org